

かりふ新聞

発行
社会福祉法人
協立いつくしみの会
 札幌市厚別区厚別中央5条6丁目5-20
 TEL(011)896-1165 FAX894-4404
 E-mail:itukusimi@karipu.jp
 2018年6月20日発行
 発行責任者 河原 政勝



新施設長 インタビュー

柏原伸広
新施設長に

こうした状況を背景に、高齢者・国民、地域の実態をみると、生活上の課題・困難が複合化し世帯全体の問題として立

ています。公助」と順番をつけ住民の善意や自発性を取り込みながら対処しようとしています。

「自助 互助 共助」の善いながら対処しようとしています。公助」と順番をつけ住民の善意や自発性を取り込みながら対処しようとしています。

また当時、勤医協もみじ台内科診療所に勤務する青年職員として、建設運動に参加していた自分が今、かりふで働くことになったことにたいへん縁を感じています。

日本は、世界最速で超高齢社会（高齢化率28%）に突入しています。世界が経験したことがない事態に対して日本の国は社会保障費を削り格差と貧困を拡大させながら

4月より新しく特別養護老人ホームかりふ・あつべつこの施設長となりました。どうぞよろしくお願ひします。かりふ・あつべつが「誰もが老後を安心して暮らせるように」という願ひのもと、地域の人のびとの10年にわたる運動の末、法人認可・建設許可を得て今日に至る歴史を誇らしく思いま

かりふの地域における役割や展望について聞きました！

「誰もが、最後まで、人間らしく・その人らしく、安心して、住み続けられること」をそれぞれの地域で実現するために

力を合わせて取り組むことがなにより大切になっていると思います。地域福祉の拠点として特養ホームに期待される役割を發揮していけるような取り組みを多くの事業所や地域の方々との協

して貢献していく所存です。介護の担い手が不足している中、私たちの施設に働く職員は、施設にとどまらず地域や社会の「宝」といえる存在です。彼ら彼女らが働きがい、

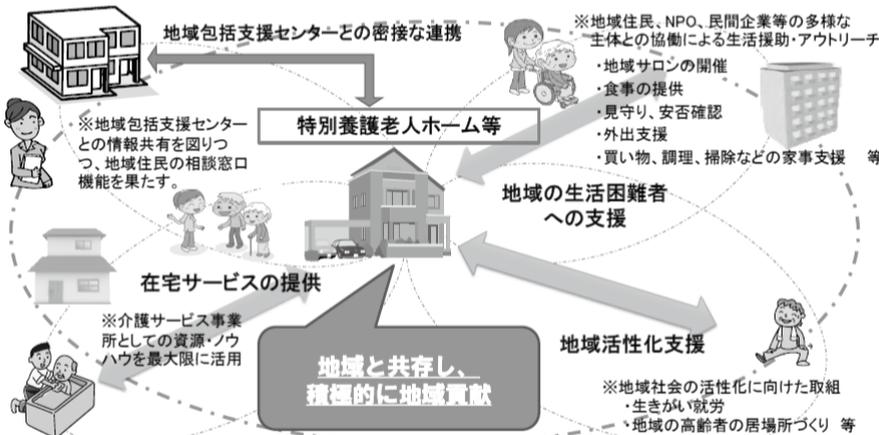
さらに発展していけるよう今後ともみなさんに支

えていただきますようお願いいたします。



特別養護老人ホームに求められる役割（地域福祉の拠点として）

○ 地域包括ケアシステムの構築を推進する観点から、特別養護老人ホームについては、様々な主体が参入する介護サービス市場にあって、重度の要介護者や低所得高齢者の「終の棲家」としての役割を一層果たしていく必要があるが、それに加えて、特別養護老人ホームは、その有する資源やノウハウを最大限に活用し、「地域の拠点」として、在宅サービスの提供、地域の生活困難者への支援、更には地域活性化にも取り組み、地域包括ケアが実現される「まちづくり」に貢献していくことを目指すべき。



社保審介護保険給付費分科会資料より H26.07.23

高齢化率とその社会の名称

WHO・国連の定義



先進国で高齢化率21%に到達している国
 イタリア(21.7:2015)、ドイツ(21.23:2015)、フィンランド(21.02:2016)等々

国	高齢化率7%の年	高齢化率21%の年	7%~14%までの期間		14%~21%までの期間		21%~28%までの期間	
			年数	年数	年数	年数		
フランス	1864	2022	115年	42年	157年			
アメリカ	1942	2033	72年	20年	89年			
日本	1970	2007	24年	12年	37年			
タイ	2003	2038	21年	14年	35年			
中国	2002	2035	23年	11年	34年			
韓国	1998	2027	18年	9年	27年			

日本は世界最速で超高齢化社会に突入

